

# 農地利用の最適化に取り組む

## 農業委員会の改選

令和2年12月1日、市役所相良庁舎において、牧之原市農業委員会の改選に伴い、第1回総会が市長の招集により開催されました。17人の新農業委員は自薦・他薦により募集し、市議会の同意を得たもので、総会において市長が一人一人に任命書を手渡しました。その後、農業委員の互選により西谷光夫委員長が会長に選任され、20人の農地利用最適化推進委員に委嘱状を交付しました。

問い合わせ 農林水産課 加藤伸久 ☎(53) 2618

\*法律により認定農業者を過半数とし、利害関係のない者(非農家)を1人以上、女性や青年を登用。紹介は50音順・敬称略。

### 新しい農業委員の皆さん

職務内容：農地法などに基づく許認可業務（総会への出席や現地調査）、農地利用の最適化推進業務（担い手への農地集積・集約化の推進活動や耕作放棄地の発生防止・解消の推進活動、農業への新規参入の支援）、農地利用最適化推進委員との連携など

#### 新会長あいさつ



西谷光夫 (大江)

#### 農業の維持・発展を目指す

地域の皆さまおよび関係機関には、日頃から農業委員会の活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

このたび、農業委員会の改選に伴い、12月の初総会において、農業委員全員の信任をいただき会長に就任することとなり、大変光栄に思うとともに、責務の重さを痛感しているところであります。

昨今の農業情勢は、担い手の高齢化や後継者不足、遊休農地

の増加など多くの課題を抱えております。

政府の規制改革により、農業委員の主たる使命として、従来からの許認可などの業務に加え、担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消に取り組んでいくことが位置づけられました。

これら農地利用の最適化は、地域農業の持続的発展を図っていく上で欠かせない取り組みであり、私たちが果たす役割は重大であると考えております。

農業委員会一丸となって、農業者および関係機関との連携のもと地域の農業を維持・発展させていくため、微力ではありますが力を発揮してまいりたいと存じます。

今後とも皆さまのご支援とご協力の程をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



齊藤勝幸 (西萩間) 大関 進 (坂口) 飯田敏春 (細江)



鈴木昌男 (須々木) 加藤臣得 (静波) 大石明宏 (勝田)



中島安彦 (切山) 鈴木真弓 (堀野新田)



永田好孝 (勝俣) 平 幹夫 (坂口)



増田浩二 (菅ヶ谷) 辻 敏宏 (勝田)



増田正和 (新庄) 谷口恵世 (坂口)



山本義澄 (東萩間) 戸塚康夫 (白井)

### 農地利用最適化推進委員の役割について

農地利用最適化推進委員の役割は次のとおりです。

- ▶ 農地などの利用の最適化の推進に関する指針の策定や変更などについて意見を述べる
- ▶ 農地などの最適化の推進について、指針を踏まえて現場活動を行う（農地利用の荒廃化の防止、新規参入の促進）

具体的には担当地区において次のような仕事をを行います。

- ▶ 「人・農地プラン」など地域農業者の話し合いを推進
- ▶ 農地の集積・集約化を推進
- ▶ 荒廃農地の発生防止や解消を促進
- ▶ 農業委員と共に農地中間管理機構と密接に連携

#### 農地利用最適化推進委員名簿 (敬称略)

担当区	氏名	住所
相良・福岡・波津・須々木	小笠原一之	須々木
大江	今村幸博	大江
片浜	太田宜孝	片浜
大沢	長野好克	大沢
菅山	富田豊久	菅ヶ谷
白井・中里	松浦徹男	黒子
神寄・西萩間・東萩間	寺田克巳	西萩間
牧之原 (旧相良地域)	鈴木鉄司	西萩間
地頭方・落居・豊岡・新庄・遠渡	宮川義久	地頭方
	曾根優治	落居
静波	加藤信男	静波
細江	西谷敏広	細江
	望月喜一郎	細江
川崎	植田 初	勝俣
	中島伸二	仁田
勝間田	浅野精一	中
	吉岡利和	切山
牧之原 (旧榛原地域)	門奈正敏	勝田
坂部	浅倉敏道	坂部
	石神陽司	坂口